

事前評価調書

I 事業概要																																																					
事業名	道路事業																																																				
地区名	一般県道 <small>おがきえあんじょう</small> 小垣江安城線																																																				
事業箇所	愛知県刈谷市 <small>かりや</small> 小垣江町 <small>おがきえ</small> ～安城市 <small>あんじょう</small> 高棚町 <small>たかたな</small>																																																				
事業のあらまし	<p>一般県道小垣江安城線は、刈谷市から安城市に至る延長約 7.8km の路線であり、国道 419 号と名豊道路高棚北 IC を連絡する機能を担う重要な幹線道路である。</p> <p>当該事業区間は、国道 419 号と名豊道路高棚北 IC を結ぶ約 1.9km のバイパス道路のうち国道 419 号から一般県道半城土広小路線交差点までの約 1.3km をⅡ期区間として整備するものである。</p> <p>当該事業区間の現道は、1 車線で幅員も 6m と非常に狭く、慢性的に渋滞が発生しており、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。</p> <p>このため、「国際競争力を強化する基盤整備」「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」を主な目的として、地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、地域高規格道路等へのアクセス性の向上を図るため、一般県道小垣江安城線のバイパス整備を行うものである。</p>																																																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>(2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																				
事業費	事業費 12.0 億円	内訳 ■工事費 8.5 億円、■用補費 3.0 億円、■その他 0.5 億円																																																			
事業期間	採択予定年度 平成 31 年度	着工予定年度 平成 31 年度	完成予定年度 平成 38 年度																																																		
事業内容	バイパス整備（延長：L=1.3km、車線数：完成 4 車線（4/4）、幅員：W=25.0m）																																																				
II 評価																																																					
①事業の必要性	1) 必要性	<p>(1) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間の周辺では、自動車関連産業の大規模工場が立地しており、現道の交通量は 2,602 台/日（H22 センサス）から 3,057 台/日（H27 センサス）と増加し、混雑度が 2.11 と慢性的に渋滞しているため、早期に整備する必要がある。 <p>(2) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名豊道路高棚北 IC 交差点は、愛知県道路交通渋滞対策推進協議会において、地域の主要渋滞箇所に指定されている。 																																																			
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>広域交通性の向上及び主要な渋滞箇所の渋滞緩和のため、事業実施の必要性がある。</p>																																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th colspan="2"></th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> <th>H37</th> <th>H38</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="6">←→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4">8.0</td> <td colspan="4">4.0</td> </tr> </tbody> </table>						H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	工種区分	調査・設計	←→								用地補償		←→							工事			←→						事業費（億円）		8.0				4.0			
			H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38																																											
工種区分	調査・設計	←→																																																			
	用地補償		←→																																																		
	工事			←→																																																	
事業費（億円）		8.0				4.0																																															
2) 地元の合意形成	<p>地元自治体より早期整備の要望を受けており、事業中であるⅠ期区間の用地買収についても地元自治体の協力が得られていることから、当該工区も地元自治体と協力して用地買収を進める。</p>																																																				

判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	円滑な事業環境が整っており、計画の実効性が確保されている。
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況</p>		